Presentation To Investors

第 2 5 期

第2四半期決算説明会

&

 $2 \ 0 \ 1 \ 0 \ - \ 2 \ 0 \ 1 \ 4$ 

中期経営計画



レー ロングライフホールディング株式会社

## 目次



■ 第1部 常務取締役管理本部長 瀧村 明泰

2010年10月期 第2四半期決算のまとめ

■ 第2部 代表取締役社長 遠藤 正一

2010-2014 中期経営計画



## 2010年10月期 第2四半期決算のまとめ

2010-2014 中期経営計画

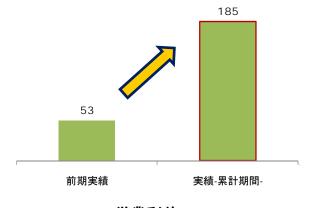
## 決算ハイライト

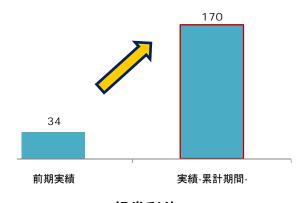


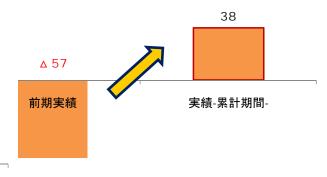
## 利益については、収益性の向上により 対前年同期比大幅に増加

(単位:百万円)

	H21/10 Q2	H22/10 Q2			
	前期実績	実績-累計期間-	(対前年同期比)	(増減)	
売上高	4,104	3,969	Δ3.3%	Δ 135	
営業利益	53	185	249.0%	132	
経常利益	34	170	393.5%	136	
当期純利益	Δ 57	38	-	-	







営業利益

経常利益

当期純利益

## 連結貸借対照表

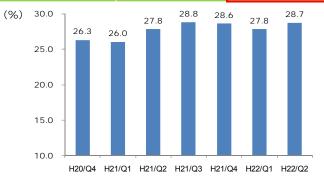


## **総資産**85**億**47**百万円 ・ 純資産**24**億**51**百万円、 自己資本比率**28.7% ・ 1株当たり純資産45,442**円**91**銭**

(単位:百万円)

	H21/10	H22/10 Q2	
	期末		増減
流動資産	2,434	2,531	97
現金及び預金	858	769	Δ 89
受取手形及び売掛金	865	880	15
たな卸資産	6	5	∆ 1
固定資産	6,158	6,016	Δ 142
有形固定資産	5,327	5,280	△ 47
建物及び構築物	3,283	3,240	Δ 43
土地	1,966	1,967	1
無形固定資産	282	243	Δ 39
のれん	260	218	Δ 42
投資その他の資産	548	491	Δ 57
資産合計	8,592	8,547	Δ 45

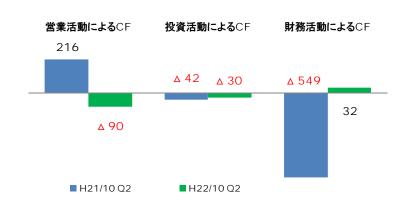
	(+12	🗀 // 1/
H21/10	H22/10 Q2	
期末		増減
6,135	6,096	Δ 39
5,126	4,952	Δ 174
646	625	Δ 21
398	365	Δ 33
3,165	3,071	Δ 94
352	383	31
1,009	1,143	134
979	1,110	131
2,456	2,451	Δ5
2,453	2,445	Δ8
3	5	2
8,592	8,547	Δ 45
	期末 6,135 5,126 646 398 3,165 352 1,009 979 2,456 2,453 3	H21/10     H22/10 Q2       期末     6,135     6,096       5,126     4,952       646     625       398     365       3,165     3,071       352     383       1,009     1,143       979     1,110       2,456     2,451       2,453     2,445       3     5



自己資本比率は、28%前後で安定的に維持している。

## キャッシュ・フロー計算書





(単位:百万円)

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

収入要因として、訴訟損失引当金の増加1億17百万円、減価償却費1億11 百万円、支出要因として、法人税等の支払額1億17百万円、前受金の減少 94百万円、訴訟に関する供託金の支出80百万円など

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

収入要因として、敷金及び保証金の回収による収入50百万円、支出要因として、有形固定資産の取得による支出73百万円、無形固定資産の取得による支出6百万円など

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

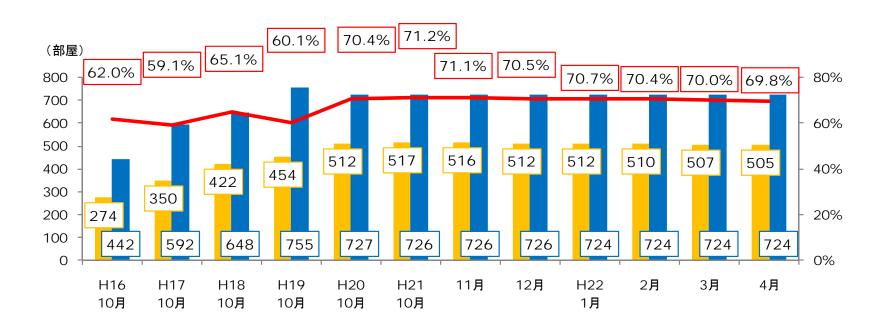
収入要因として、長期借入れによる収入3億75百万円、支出要因として、長期借入金の返済による支出2億75百万円、自己株式の取得による支出30百万円など

	H21/10 Q2	H22/10 Q2	
	実績	実績	増減
営業活動によるCF	216	Δ 90	Δ 306
投資活動によるCF	Δ 42	Δ 30	12
財務活動によるCF	Δ 549	32	581
現金・現金同等物の増減	Δ 375	Δ 89	286
現金・現金同等物の期首残高	697	858	161
現金・現金同等物の期末残高	322	769	447

## ホーム介護事業:入居率



#### 入居率は約70%を維持



── 入居室数 ── 居室総数 ── 入居率

## 平成22年10月期 期末配当金及び利益計画



#### ◆ 期末配当金

配当金	平成20年	平 <b>成</b> 21 <b>年</b>	平成22年	
	実績	実績	予想	
1株当たり配当金(円)	0	300	500	
配当金総額(百万円)	-	16		
配当性向(%)	-	14.9	18.0	

#### ◆ 会社計画 (平成22年10月期)

	売上	高	営業	利益	経常	利益	当期紅	柯益
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
通期	8,500	4.3	390	1.4	360	5.1	150	35.8



## 2010年10月期 第2四半期決算のまとめ

## 2010-2014 中期経営計画

## ~『中期ビジョン2014』 始動~



## 2010-2014 中期経営計画

- 究極の介護サービスの追求と飛躍 -

2010年6月18日 ロングライフホールディング株式会社

代表取締役社長 遠藤 正一

## 目次



- 1. Vision ~ロングライフの不変の理念~
  - 2. History ~究極のサービスが創られた軌跡~
    - 3. Present ~ロングライフの現状と取組~
      - 4. Tomorrow ~ロングライフの将来~
        - < 2010-2014 中期経営計画 >
        - A 目的
        - B グループ数値目標
        - 連結子会社各社 成長に向けての戦略
        - D **社会・環境・社員への取組み(**CSR)





## 1. Vision ~ロングライフの不変の理念~



## 1. Vision ~ロングライフの不変の理念~





『ロングライフは こんな事までしてくれるのか!』 と感動してくださるお客さまを 一人でも多く作るという理念のもと、 シニアサービス業界の オンリーワン企業を目指す!

## 1. Vision ~ロングライフの不変の理念~



#### "グッドフィーリング"の3つの「C」で人生はどんどん楽しくなる

Culture

文化と背景

Comfortable

心地よい空間

Care

質の高い身体ケア

人それぞれに育った時代背景も培われた文化も異なります。 生活習慣や趣味や嗜好・・・など、私たちは、個々に異なるラ イフスタイルや生活文化を尊重し、お客さま一人ひとりに応じ た「人生と文化」の継続をサポートします。

高齢者のADL(日常生活動作)に配慮した、安全・安心の居住環境であることはもちろん、お客さまに「心地よい」と満足していただけるような住空間を目指し、高い「クオリティ・オブ・ライフ」を追求した最上質の居住環境をご用意しています。

私たちの考えるケアの基本はお客さまの尊厳の尊重、そして 自立性や意思の尊重です。 親密なコミュニケーションのもと ケアプランを作り「自分のできること」は「できるだけ自分でし ていただく」という方針で、「自立と自発」をサポートします。

#### 【ロングライフの存在意義】

従来の「高齢者」「介護」に対するマイナス・イメージを払拭すべく、介護業界に新しい 旋風を巻き起こし、将来の超高齢社会に人々が過ごしやすい社会作りに貢献する。



# 2. History ~ 究極のサービスが創られた軌跡~



## 2. History ~究極のサービスが創られた軌跡~



|・(株)関西福祉事業社 を設立

・訪問入浴サービスを開始

・「ロングライフ長居公園 [ 号館」の開設

1990 ・ホーム介護事業の開始

1986

1999

2002

2008

・「日本ロングライフ株式会社」に商号変更

・「ロングライフ医療福祉専門学院」を開校

・介護のプロを育てる

・4月に大阪証券取引所 ヘラクレスに上場

· **証券コード** 4355

・「エルケア(株)」の株式を取得し、グループ会社とする

・(株)コムスンの大阪府における在宅介護事業を12月1日に承継する

・ロングライフホールディング(株)に社名を変更し、持株会社体制に移行

## 2. History ~究極のサービスが創られた軌跡~



≪2008年 ロングライフホールディング株式会社として、持株会社体制に移行≫ ホーム介護事業と在宅介護事業の両輪で、介護事業に集中

### ロングライフホールディング(株)



#### 日本ロングライフ(株)

・・・ホーム介護事業

エルケア(株)

•••在宅介護事業

ロングライフダイニング(株)

・・・フード事業





#### 左から:

ロングライフホールディング株式会社 常務取締役管理本部長 瀧村 明泰ロングライフホールディング株式会社 代表取締役社長 遠藤 正一

日本ロングライフ株式会社 代表取締役社長 小嶋 ひろみ

ロングライフホールディング株式会社 代表取締役副社長 北村 政美

エルケア株式会社 代表取締役社長 米澤 孝承



## 3. Present ~ ロングライフの現状と取組み~



## 3. Present ~ロングライフの現状と取組み~



#### 【施設概要: ホーム介護事業】

2010年4月末現在

	有料老人ホーム	グループホーム	運営受託 ホーム	合計
2010年 4月	14	4	2	20

#### 【施設概要: 在宅介護事業】

2010年4月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	デイ サービス	小規模 多機能	居宅支援	福祉用具	訪問歯科	合計
2010年 4月	40	5	2	8	4	27	2	10	98







## 3. Present ~ロングライフの現状と取組み~



#### 【日本ロングライフ】

- ・営業強化により既存ホームの入居率を高める
- ・新サービスの提供
- ~シニアカレッジ、デイサロン・・・ロングライフらしさの徹底~

#### 【エルケア】

•収益の拡大を図るため、事業所を増設

#### 【全社】

- ・優秀な人材の確保と社員満足度向上
- ・新しい給与体系を導入し、社員が安心して長く働ける環境作りを行う
- •研修制度の充実





- < 2010-2014 中期経営計画 >
  - ① 目的
  - ② グループ数値目標
  - ③ 連結子会社各社 成長に向けての戦略
  - 4 社会・環境・社員への取組み(CSR)
  - ⑤ まとめ



### **A** 目的

顧客満足の向上を図りながら、

既存事業の収益性向上を図るとともに、

積極的に攻めの展開に入る。

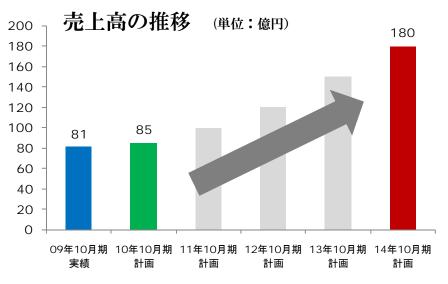
5年後には、新規施設・拠点の増設により

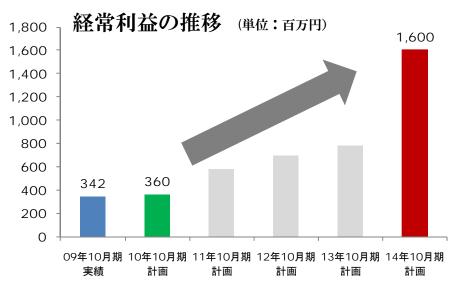
売上高180億円の企業を目指す。



### B グループ数値目標

(単位:億円)	09年10月期 実績	14年10月期 目標	09年10月期 実績差
売上高	81.4	180	98.6
経常利益	3.4	16	12.6
経常利益率	4%	9%	5%







#### C 連結子会社各社 成長に向けての戦略



①【日本ロングライフ株式会社】

#### 【新設ホームの予定】

- ▲ 2011年度中 ・ロングライフ苦楽園・芦屋別邸 (全居室数35室予定)
  - ・ラビアンローズ千里山 Ⅱ号館(全居室数80室予定)
- **★** 2012年度中 ・ラビアンローズ緑地公園 II 号館 (全居室数40室予定)
  - •その他1ホーム(全居室数60室予定) 現在開発中
- **♣** 2013**度年中 •その他**3ホーム (各70室予定) 現在開発中

#### ホームサービス事業における入居率の向上による収益性の向上

- ▲ 営業力強化によるクロージング率の向上により、高入居率の達成
- ▲ 徹底して効率性を追求し、収益カアップを図る









#### ○ 連結子会社各社 成長に向けての戦略



② 【エルケア株式会社】

#### 【新設拠点の予定】

▲ 5年間で80拠点を増設し、現在の拠点数と合わせ、

合計140拠点以上を展開する

#### 在宅介護事業における新規出店の戦略

↓ ドミナント戦略による面展開の拡大と深耕

◆ 拠点事業所の総合在宅拠点化





#### C 連結子会社各社 成長に向けての戦略



③ 【ロングライフダイニング株式会社】

#### 【新規戦略】

7施設

- ☆ 安全で安心して召し上がっていただける食のサービスを目指して! ☆
- ◆ セントラルキッチン開設
- ▲ 配食・宅配事業の拡充
- ♣ ケータリング事業への進出



#### 給食事業の概要(計画)

•新規施設

# <th rowspan="2" Table 10" Table



### <u>C</u> 連結子会社各社 成長に向けての戦略

#### ④ 【営業体制の再構築】



新規ホーム、事業拠点の拡大に伴う大幅な増収を成し遂げるために営 業基盤・体制の刷新を図る。



営業社員を充実させ、教育・管理を徹底することによる営業体制の強化を図る。

#### ⑤ 【会社理念浸透と個々のスキルアップのための教育の強化】



お客さま満足度の最大化のために社員一人ひとりに対する会社理念の 浸透及び個々のスキルアップを徹底し、サービス質の向上を図るべく社 員教育を強化していく。





#### D 社会・環境・社員への取組み (CSR)



#### 女性社員

- ①男女雇用機会均等法 ②女性の会社における役割の重視
- ③保育園の充実 ④出産後の現場復帰 他

#### 雇用促進

- ①高校生の積極的な雇用 ②新卒の積極的な定期採用の実施
- ③障害者の積極的な雇用 ④外国人の雇用拡大 他

#### 地域貢献

①介護相談会、歯科相談会 ②大阪市西成区釜ヶ崎での吹出しボランティア ③「キャラバン隊」と称して地域の清掃活動 他

## CSR

#### 人権

①社内でのセクシャルハラスメント・パワーハラスメントに関して の通報システムがあり、風通りの良い企業風土の構築 他

#### 適時開示

①適時開示を含む企業情報を的確にタイムリーに開示 ②個人 投資家、機関投資家、報道関係者等隔たりのない開示 他



#### 人財教育

①研修制度の充実・社会に有意義な人財の育成 ②難波研修センターおよび岡山研修センターを活用し、研修に注力 他

#### 組織統治

①コンプライアンスの体制整備と徹底 他

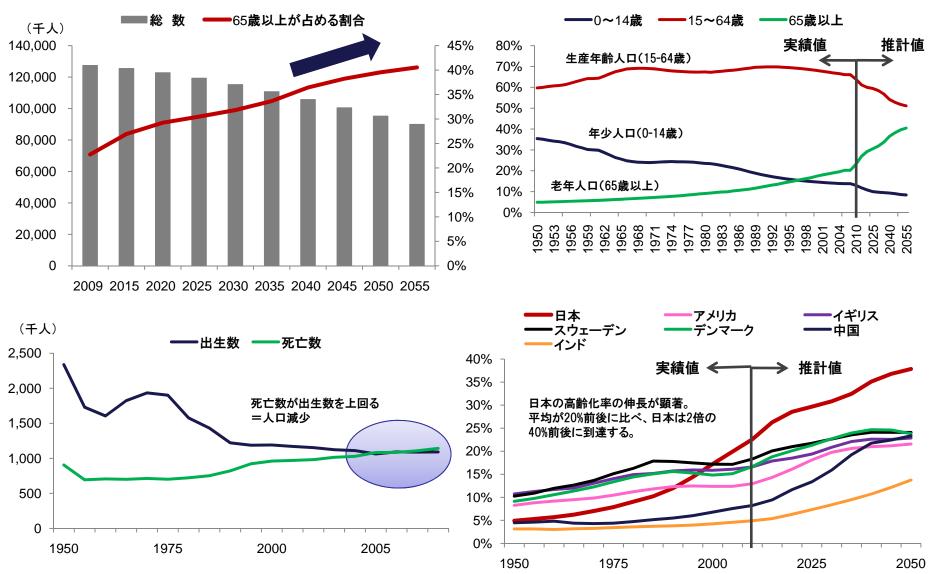


## 高齢者マーケットと当社の位置付

## 人口推移

出所: 国連 world population prospects





## 都道府県別 高齢化率・高齢者数

(65歳以上対象)



(単位)千人

#### 高齢化トップ5の都道府県

① 島根県	28.83%
② 秋田県	28.34%
3 高知県	27.81%
4 山口県	26.93%
	26.60%

- ◎ 地方には、高齢化率が40%を超えている 限界集落という大きな課題がある。
- ◎ 地方は、高齢化率で大きな問題があるが、 地域コミュニティーや従来型の社会福祉法人 が解決を試み、安定をもたらせている。
- ◎ 問題は、都心部での需要に見合う供給があるのかということ。

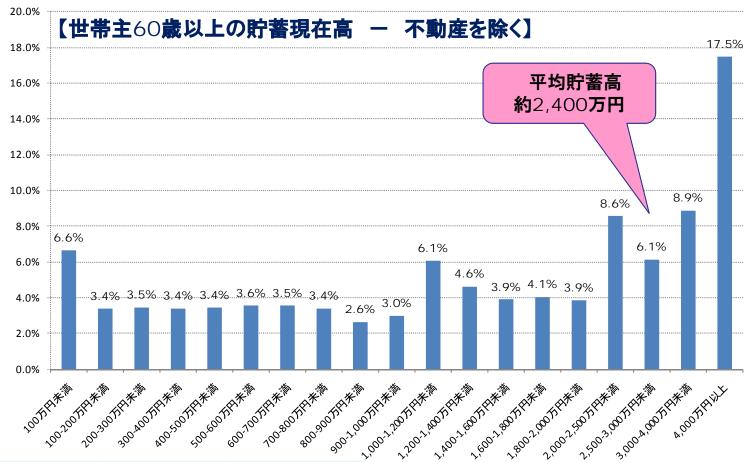
#### 高齢者数トップ10の都道府県

① 東京都	2,600
② 大阪府	1,867
③ 神奈川県	1,714
<b>4</b> 愛知県	1,418
5 埼玉県	1,361
⑥ 北海道	1,305
⑦ 千葉県	1,234
8 兵庫県	1,233
9 福岡県	1,084
⑪ 静岡県	859

出所:総務省

## 高齢者平均貯蓄高 (総務省 家計調査より)





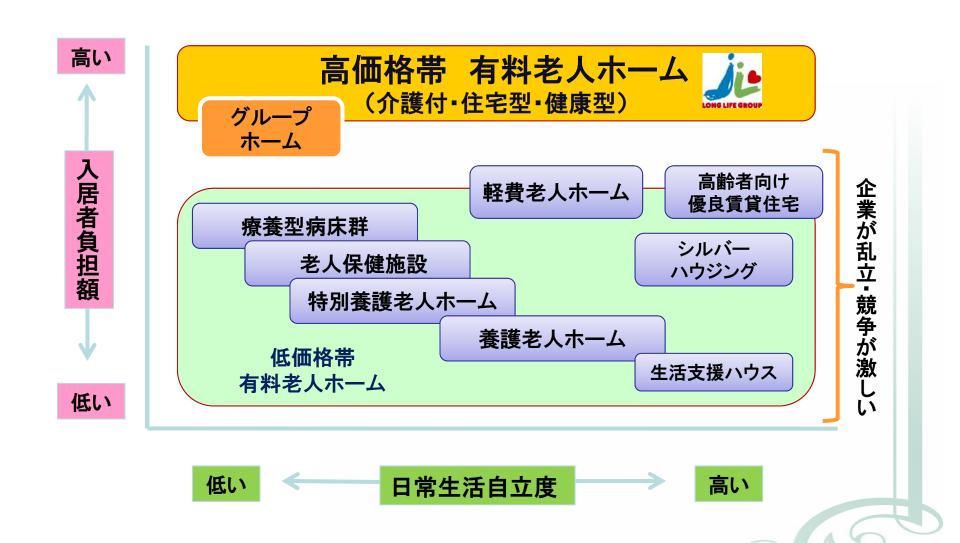
2 <b>人以上の世帯</b>	60歳~69歳	70歳以上
持家率	92.3 %	92.1 %
年間収入	565 <b>万円</b>	456 <b>万円</b>
貯蓄(金融機関)	2,300 <b>万円</b>	2,400 <b>万円</b>
不動産	5,300 <b>万円</b>	5,700 <b>万円</b>

- 日本人口の30%以上が60歳以上の高齢者であること=3,800万人
- 〇 2人以上の総世帯数 700万世帯の内、42.7%の世帯主が60歳以上の高齢者であること=約300万世帯
- その世帯の内、4,000万円以上の貯蓄がある世帯が17.5%あること=52.5万世帯
- 当社の総部屋数は、724室のみであること

上記を勘案すると、当社のターゲットマーケットは十分にあると考える。

## ホームの種類一覧





## ホーム介護事業の競合企業



	低価格帯	高価格帯
介護専門業者		ロングライフ ハーフセンチュリーモア *#上場
異業種から	*非上場  べネッセ (通信教育系)  二チイ学館 (医療事務系)  ワタミ (外食系)	ベネッセ (通信教育系) セコム (警備系)

出所:各社資料などより当社作成。各区分けは必ずしも正確でありません。

## ここに差ができる!!【高価格帯と低価格帯の違い】



#### 日本ロングライフ

- ■個々に合ったサービスのご提供 (残存能力を最大限に活かす)
- ■海外・国内旅行、プロによる演奏、宝塚 歌劇団や劇団四季等の鑑賞
- ■"お客様"⇒<u>顧客満足を追求</u>
- ■全学部全学科 ⇒(幅広い視野を持った人材)

社会福祉法人 低価格帯有料老人ホーム

- 徹底的にマニュアル化された作業的 サービス(<u>合理性</u>を追求・一括管理)
- ⇒個性は無視
- 折り紙等、<u>幼稚園の様な遊び</u>
- "利用者"⇒<u>トップダウン</u>の 'やってあ げている' '管理している' という古典的な 考え方
- 福祉系大学の出身者が多い

## ロングライフ独自のグッドフィーリング



#### 文化と背景

#### 【お客様側】

- 趣味を続けたい。
- 生き甲斐がない。
- •話下手。
- ・友達が欲しい。

#### 【NLL・スタッフ側】

- お客様の趣味を継続していただく為、趣味グループの形成。
- ・生き甲斐を見つけて頂く ため、お客様にも役割を 持っていただく。(お花の お水やり等)→<u>自立する</u> 喜び
- ・趣味グループ等から、お 友達やお話相手を作って いただく。

#### 心地よい空間

#### 【お客様側】

- ・今まで、庭の緑のある 空間で生活をしてきた。
- 季節を味わいたい。
- ・家族に会いたい。

#### 「多族に去いた

#### 【NLL・スタッフ側】

- ・緑を多様した建物設計
- ・緑や庭があるため、季節 感を味わえる。
- ・イベント等で、季節感を 味わって頂く。
- インテリアも季節に応じて変えている。
- ・家族が来られても、小旅 行に来たように感じていた だけるヨーロッパ調の洗練 された建物

#### 質の高い身体ケア

#### 【お客様側】

- 介護されることに不安がある。
- ・恥ずかしい。
- 自分を理解してくれているのか?

#### 【NLL・スタッフ側】

- ・トレーニングを受けた専門集団
- ・トップダウンでは<u>ない為</u>、 お客様の状況、思い、こと ば、を十分に理解するよう に努める。
- プライバシーとお客様の 尊厳を守る。

## グッドフィーリングの追求 ~GFCチーム~



#### \*おいしんぼ倶楽部

〈企画~下見~当日同行まで担当〉

月に一度、季節感を楽しみ、美味しいものを召し上がって頂き、名所を観光するなど、手軽に行ける日帰り旅行です。

お花見、紅葉狩り、初詣、USJ、クルージング、 クリスマスディナーなど



#### \*たび倶楽部

〈企画~当日同行まで担当〉

国内:北海道、沖縄、東京、金沢、岡山

海外:ハワイ (人気の為二回実施)、台湾、

韓国(クルージング)、フランス

安全で快適、さらにロングライフでしか味わえない

楽しい旅を提案させて頂いています。

#### \*観劇倶楽部

〈企画~下見~当日同行まで担当〉

美味しいお食事と観劇を楽しんでいただきます。これまでに宝塚歌劇や劇団四季などをご鑑賞頂きました。



#### \*MEN'S 倶楽部

〈企画~下見~当日同行まで担当〉

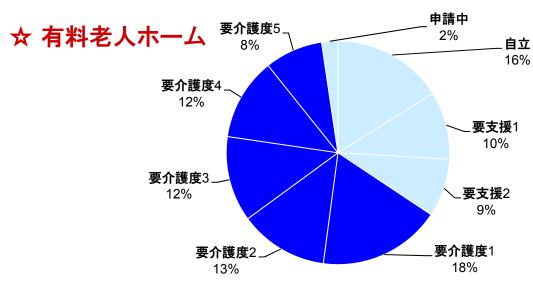
男性のお客様からのご希望で発足。お客様もスタッフも男性限定。居酒屋や料亭などでお酒を飲みながら、おいしんぼ倶楽部





## ホーム介護事業 入居者の介護度

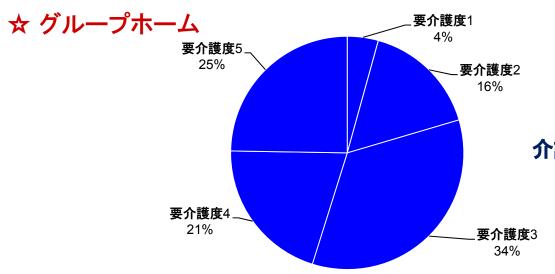




入居時平均年齡 81歳

入居者平均年齡 84歳

介護度の推移に大きな変化はないが、 要介護1以上の入居者が63%を占める。



入居時平均年齡 82歳

入居者平均年齡 86歳

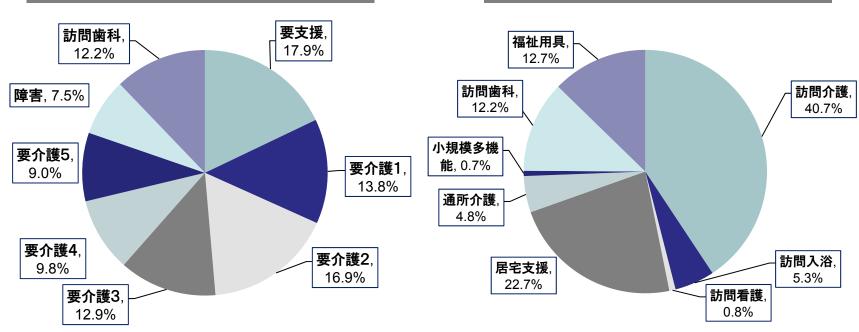
介護度3以上の入居者が、80%を占める。

## 在宅介護事業 サービス別・介護度別顧客比率





#### 在宅介護サービス別顧客数比率



- サービス別の顧客数は、訪問介護と居宅支援で約65%を占める。
- 介護度が、分散されているのは、幅広い総合サービスの結果である。

## 料金体系 (例) マンションタイプ LL神戸青谷 705号室



	部屋タイプ	マンションタイプ	
ご入居者様の類型		自立·要支援·要介護	
金額		3,800 <b>万円(入居一時金)</b>	
初期償却		<b>入居一時金の</b> 30 <b>%</b> 3,800 <b>X</b> 0.3 <b>=</b> 1,140 <b>万円</b>	
家賃償却		入居一時金の70%を 10年(120ヵ月)で 毎月均等償却 (3,800ー1,140)÷120=22万円	7
償却期間経過後家賃負担		無	1
	管理費	157,500 <b>円</b>	
月額利用	食費	63,000 <b>円(</b> 30 <b>日換算)</b>	
料	生活支援サービス 料	33,600 <b>円 (要介護度3の場合)</b>	]
介護保険報酬		要介護3の場合、月額 約 220,000円 (本人1割負担)	

ご入居時にお支払い頂くお 部屋の金額

ご返却しない金額 (お部屋の金額×30%)

お部屋のお値段から、ご返却しない金額(30%)を引いた額を、10年間にわたり月ごとに売上に計上。

途中でご逝去された場合は、残額をご返金。

10年後以降は、家賃無料。

月次でお客様にお支払 い頂く金額

介護保険の1割をご負担

介護保険報酬への依存率はとても低い。

ホーム介護事業のみでは、介護保険依存率は<u>22%</u>程度 グループ全体で50%以下 当社では、1人 当たり月々45 万円~70万円 の売上が計上 される

## 株価の推移





出所: yahoo as of 15 Jun 10

平成22年6月15日 終値 31,000円

## 注意事項



資料中の目標数値は業績予想ではありません。また、資料中の将来に係わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、既知・未知のリスクや不確実な要素が含まれています。さまざまな要因と変化により、実際の結果は、これら記述内容と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

リスクや不確実性には、経済情勢の悪化、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・戦略による圧力、当社の販売力の低下、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。



## 『こころが動けば からだが動く』

